

広報 たけた

TAKETA Public Relations No.8

11

2005

「竹楽」とツーリズムの取り組み 田能村竹田を偲ぶ美術祭

市政懇談会開催
ラムサール条約

保健だより／医師会病院から／みんなの介護保険
まちの話題／ボランティア清掃、久住高原まつり、畜産共進会
みんなの広場／MIKE の出発、すくすく1歳
別冊「たけたん情報」／竹田市のこよみ 2005年11月



「竹楽」とツーリズムの取り組み

～新たな課題とその取り組みに向けて～

今年も11月18日から20日にかけて、竹田市街地の歴史の道周辺を中心に、「竹楽」が開催されます。この「竹楽」というイベントはどのような考えで始まり、どのような方向を目指しているのでしょうか？

ツーリズムへの取り組みを柱として、「竹楽」に当初から関わってきた竹田市観光協会副会長の井上隆さんが平成17年度の地域づくり表彰式典(11月1日)で発表する資料を元にお伝えします。

はじめに「地域の概要」

岡藩七万石の城下町・竹田は、昭和半ばまで中心市街地における商業と周辺の農村地域における農林業を中心に発展してきました。竹田は県境に位置し、往時、経済のみならず近隣町村の医療、教育、婚姻等の生活交流圏の中心でもありました。

商店街は往来の人々で終日にぎわい、産業を興し職場をつくり関係官庁の事業所設置や地場企業を支え、地域の運輸、交通機関も大いに発展し、町は人が人を呼ぶ集積場所となり経済を牽引してきました。

しかし、戦後の急激な工業化、都市への一極集中、社会化等の社会変化は農村部から城下町まで徐々に労働力とともに愛郷心や土着心までも失われ、旧竹田市の人口は平成17年3月末現在16,819人とピーク時(昭和32年38,505人)の半数以下にまで減少しています。

商店街ではその衰退とともに空き店舗の数も増加して活力を失っています。一方、周辺の農村地域は農林業の不振



↑竹楽グッズで販売体験！

と高齢化・後継者不足等一段と厳しい状況にあり、放置された山林や畑の増加も目立ち始め、藩政時代から続いていた伝統芸能や年中行事等の個性豊かな地域文化の消失も危惧されています。

活動開始の経緯

竹田市観光協会は昭和40年の設立以来、JR豊後竹田駅構内の一角に事務所を設置し、観光総合案内や観光宣伝等の情報発信や、岡城桜まつり、七夕まつり等の観光イベントに取り組んできました。

岡城桜まつりは多くの観光客を受け入れてきましたが、年間通しての観光振興には至らず、まちづくりの方向性と

ツーリズムとは？

ツーリズムとは、緑豊かな農山村地域や歴史と伝統ある地域において農作業や自然、生活、文化等を体験して、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことを言います。

上記の活動をグリーン・ツーリズム、また、漁村等海辺での同様の活動をブルー・ツーリズムとも言います。



↑ 椎茸の駒打ち体験！

この計画は竹田市の歴史・文化・自然を基調に居住者が生活を愉しみ、外来者を迎える交流の輪を広げ、その活力をもとに農村環境の保全やむらの活力再生、さらに波及効果で城下町の商業を活性化し、産業と文化の再生を市民が一体となって進めようとするものでした。

意識改革が必要となりました。このような中、平成9年、旧竹田市では農林業、商業、観光の三位一体となった活力と風格のある地域振興を図るため、エコミュージアム構想（まるごと博物館）をコンセプトに竹田市観光振興計画を策定しました。



↑ 郷土料理を体験！

竹田版ツーリズム

平成10年、協会では新たな旅の形態「ツーリズム」を学ぶ勉強会として「もみじと里山文化の愉しみ」と題したシンポジウムを開催し意見集約されたツーリズムの推進が新しい活動テーマとなりました。その後自然観察会、野鳥観察会、民謡民舞の掘り起こし、伝統食文化の研究等の取り組みが各団体や地域で始まりました。

その一つが、これまで岡城中心に考えられてきた観光客誘致から、城下町や農村の観光資源の発掘とものづくりや農作業の体験を行うことで町や農村へ誘導して「歩いて」「見て」「体験できる」竹田版ツーリズムへの転換です。

棚田等の農村景観が見直される価値観の変化は観光や旅行の変化となり、取り残されて手つかずの自然が残った田舎に自然や暮らしの体験を求めるグリーンツーリズムの可能性をもたらしました。

たとえば、祖母・傾の登山口になる神原地区では『皆泊村』を宣言し、椎茸の収穫体験や原生林トレッキング等を商品化する等の受け入れ準備が整ってきましたので、城下町散策との組合せによるツアー企画を観光協会が主催するようになりました。

また、協会各委員会の取り組みも観光客招致を目的としたものだけでなく、特産品開発や総合的な地域づくりを最終目標として再編されはじめ、観光ボランティアガイド

の養成や各店舗にミニガイドができる店員の養成等の人材育成等にも取り組みました。

そして、竹楽

平成11年、自然観察会の中で里山の環境が昭和の時代と比較してひどく荒廃していることに気が付きました。

竹田地域には総面積の約65%に当たる里山（13,000畝）がありますが、農村地域の高齢化や過疎化の影響で管理が行き届かず、繁殖力の強い孟宗竹等が侵食し、全国名水百選にもなった入田地区の湧水群でも涵養林の荒廃が進んでいて、放置すれば名水や美しい農村景観の破壊、文化の喪失等が危惧されました。

そこで、都市部の市民を中心にボランティアを募り、孟宗竹を伐採し里山の保全を図るとともに、伐採した竹を灯籠として観光イベントに活用し、賑わい創出、産品開発等、一連の過程から地域循環型経済システム再構築のシンボルにしようと、平成12年に里山保全百年計画をテーマとして「竹楽」の取り組みを始めました。

実験的に3,000本を武家屋敷通りに設置したところ好評を得て、13年は12,000本、14年はさらに20,000本に数を増やし、「歴史の道」を中心に総延長2.5kmの街路に竹灯籠を飾り付けるようになりました。開催から5年を経過した今日、市民参加型のイベントとして定着するとともに、期間中115,000人の観光客を集めるイベントとなり、観光による地域活性化に大きく寄与しています。

活動の意義と効果

竹田には神社、仏閣、土蔵の商家、武家屋敷等の歴史的建造物が数多く残っています。

竹楽を開催したことで、寂れかけていた城下町の歴史的文化的資源が再び息を吹き返すとともに「努力すればこの町は活力を再生できる」という自信と誇りを取り戻す機会にもなりました。

竹灯籠は春の雛まつりで竹雛用として再利用され、役目を終えると里山で竹炭にし販売しています。今年は青竹の竹灯籠はチップにして堆肥

に、薫煙竹灯籠は竹炭にして川の浄化に活用するというバ
イオマスの研究も始めました。

運営組織の竹楽実行百人
委員会は、里山保全と産業
連関再構築を明確な目的と
する竹楽に賛同した市民、ポ
ランティア等広範囲の人々か
ら構成され、平成16年には小
中高生から高齢者まで延べ約
3,000人のボランティア
が竹伐採・加工、竹灯籠配置、
灯点火、片づけと一連の作業
に係りました。

ここ数年で目立ちはじめた
のは若年青年層ボランティア
です。小中学生の自主的な竹
灯籠磨き等のお手伝いや高校
生の学園祭等での竹材使用に
よるオブジェづくり、大学生
の企画と運営への参加等、能
動的で積極的な参加意欲が感
じられます。

さらにツーリズムと竹楽に
より、まちとむら、農と商、
人と人との関係が少しずつ蘇
っています。

展望と課題

観光動態調査によると、旧
竹田市を訪れた観光客は平成
12年度の76万人から平成15年

度には110万人となり、竹
楽とツーリズムの取り組みが
新しい観光資源として成果を
あげていますが、年間平均し
た集客力が弱く数字の割に地
元経済を潤す実感はありませ
ん。

地域間競争の中で常に新た
な価値観の創造と生活提案で
競える地域になるため、情報
収集と発信、他地域との差別
化等戦略的な地域経営感覚が
求められています。また、必
要経費を安定的に得られる持
続可能な収入源の確保も必要
です。さらに、本格的な里山
ツーリズム事業の取り組みに
はガイド（インタープリター）
の育成が必要です。

合併で発足した新しい竹田
市では、各地域の連携による
竹田市の魅力（歴史文化、自
然等）にどのような価値を創
造していくのでしょうか。

観光協会の目的とする里山
保全と地域循環型社会の再生
に向けて、農業、商業、観光
といった個別の産業によるも
のから教育、福祉等を含めた
統括的な政策の継続的な実践
がこれからの課題です。

お 邪 魔 し ま す

市政懇談会 「笑顔でトーク」



竹田市では、市長が直接市
民の皆さんと接し、市民の皆
さんに市政への関心を持つて
いただき、また、市への要望・
意見を語り合うことで、今後
の市政や行政サービスに反映
するために、「市政懇談会『笑
顔でトーク』」を、左表のと
おり地域・地区ごとに開催し
ています。

懇談会は、市民の皆さんが
集まりやすい時間を選び、市
長を始め、助役、教育長、各
部長等が出席し、竹田市の財
政状況や「新市建設計画」に
沿った平成17年度の事業を説
明しています。

その後、市民の皆さんか
ら市への要望や意見をいただ
き、その場で答ええること
とはお答えし、また、その場
で答えられないことについて
も持ち帰って検討し、後日ご
回答を差し上げています。そ
して、いただいた意見や要望
を今後の市政や行政サービス
の向上に反映していきます。

懇談会の日程は、「広報た
けた」でお知らせします。
市政懇談会は、市民の皆さん
が竹田市について日頃思っ
ていることを、市長に伝える
良い機会です。市民の皆さん
のご参加をお待ちしています。

日 時	地域・地区	会 場
9月24日	松 本	松本分館
10月 8日	明 治	明治多目的集会所
10月11日	豊 岡	豊岡小学校体育館
10月14日	竹 田	竹田分館
10月26日	久 住	久住中央体育館
11月 6日 14:00～16:00	直 入	直入中央公民館
11月 9日 19:00～21:00	岡 本	岡本分館
11月23日 19:00～21:00	菅 生	菅生農村環境改善センター
11月30日 19:00～21:00	入 田	祖峰小学校体育館

第57回 画聖「田能村竹田」先生を偲ぶ美術祭

日時 11月1日(木)～4日(日) 9:00～16:00

場所 竹田市体育センター（竹田市文化会館横）

竹田市出身の南画家田能村竹田を記念して開催する第57回画聖「田能村竹田」先生を偲ぶ美術祭では、県内外の小中高生の絵画4,292点、書写書道2,315点の作品の中から選ばれた1,000点の入賞作品を展示します。

市民の皆さんのご来場をお待ちしています。

※田能村竹田（1777～1835）日本南画の最高峰。博学多才で、和歌・華道・茶道・香道にも才を表す。学者としても唐橋君山を助け、豊後国志を完成させた。



書写書道の部 文部科学大臣奨励賞
← 杵築市立杵築小学校2年 Mitsukasa Hishikiさん



↑ 大分県教育委員会教育長賞
竹田市立荻小学校1年 赤木友紀さん



↑ 愛媛県新居浜市立中萩中学校3年 木場くる美さん

絵画の部 文部科学大臣奨励賞

竹田市から受賞した皆さん〈絵画の部〉

賞 名	学 校 名	学年	氏 名
大分県教育委員会教育長賞	竹田市立荻小学校	1年	赤木 友紀
毎日中学生新聞賞	竹田市立都野中学校	1年	村田 奈己
勸田能村竹田顕彰会理事長賞	竹田市立荻小学校	6年	西村 優里佳
朝倉文夫奨学会会長賞	竹田市立竹田小学校	5年	児玉 淳
竹田商工会議所会頭賞	竹田市立都野小学校	6年	衛藤 麻矢
竹田市文化連盟賞	竹田市立城原小学校	3年	小嶋 楓
エフエム大分賞	竹田市立都野小学校	5年	鷺司 蒼



↑ 毎日中学生新聞賞
竹田市立都野中学校1年 村田 奈己さん



↑ 朝倉文夫奨学会会長賞
竹田市立竹田小学校5年 児玉 淳さん



← 竹田市文化連盟賞
竹田市立城原小学校3年 小嶋 楓さん



← 勸田能村竹田顕彰会理事長賞
竹田市立荻小学校6年 西村 優里佳さん



↑ 竹田商工会議所会頭賞
竹田市立都野小学校6年 衛藤 麻矢さん



↑ エフエム大分賞
竹田市立都野小学校5年 鷺司 蒼さん

第59回瀧廉太郎記念

全日本高等学校声楽コンクール

1位は加藤のぞみさん

(神奈川県立小田原高等学校)



↑ 1位になった加藤のぞみさんと伴奏者の北村しずかさん

第59回瀧廉太郎記念全日本

高等学校声楽コンクールが、10月22日から23日にかけて竹田市文化会館で開催され、竹田高校2年の山元勇作さん(伴奏者…板井靖良さん)をはじめ全国から31組が参加し、その声を競いました。

そして、11組が23日の本選に進出し、審査の結果、加藤のぞみさん(神奈川県立小田原高等学校)が1位、吉川友貴さん(長崎県活水高等学校)が2位に選ばれました。

加藤さんは「歌を本格的に習い始めたのは高校からです。1位になれて嬉しいです」と語ってくれました。

この他の結果は、竹田市ホームページをご覧ください。



↑ 山元勇作さんと板井靖良さん(伴奏)



↑ トチノキは樹齢 500 年を超えます。

大きな樹の下、コンサート

祖母山の麓に位置する健男霜凝日子神社(神原)のご神木のトチノキ(大分県天然記念物)の下で、筑前琵琶やバイオリン、ピアノ等の演奏を楽しむ里山コンサート「トチノキとその仲間たちへ」が、9月24日夜に催されました。境内には県外からの観光客も含め約300人の観客が集まり、幻想的な雰囲気を楽しんでいました。



↑ 混声合唱と管弦楽のハーモニーによる荒城の月

本格的な音楽芸術に触れよう

新竹田市発足記念及び文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」採択記念大分県立芸術文化短期大学特別地域演奏会が、10月9日、竹田市文化会館で開催されました。

竹田市を訪れたのは管弦楽団及び合唱団、そして教授等の皆さんで、河野敦朗助教授編曲による「混声合唱と管弦楽のための『荒城の月』と『ベートーヴェン交響曲第9番』合唱付き」二短調作品125」を披露してくれました。

会場は小中学生を始め多くの市民が詰めかけ満席となり、その中で深みのある演奏に聞き入っていました。

まちの話題



↑花き栽培の話を聞く知事

10月11日、広瀬勝貞大分県知事が、ラムサール条約登録地に検討されている坊がツル湿原を視察した後、直接市民の話を聞く「県政ふれあいトーク」のため竹田市を訪れました。

広瀬知事は、白丹地区では花き組合と会い、荻地域では愛育班の活動を聞き、菅生地区では農業経営者と話し合い、意見に耳を傾けていました。

県政 ふれあい トーク



↑菅生で話をする知事



ジャンボなかぼちゃが集まった

9月30日、荻地域で、愛育班ジャンボなかぼちゃコンクールが参加者150人、出品かぼちゃ230個を集め開催され、審査の結果、ジャンボかぼちゃ賞1位は長谷修治さん（113・5キ）、べっぴん賞1位は徳永重利さん、ユニーク賞1位は本田キヨ子さんが受賞しました。また、翌日波野村で開催された中九州大会にも出品し、優勝に輝きました。



↑井上さん、後藤さん、佐藤さん（左から）

舞台は全国！

11月11日から13日にかけて山口県スポーツ文化センターで開催される第39回全日本社会人卓球選手権大会（マスターズの部）の大分県代表として、竹田市から井上巖さん、後藤公夫さん、佐藤典子さんが出場します。

昨年は予選で敗退したことから、今年は決勝トーナメントに進出し、上位を狙いたいと語ってくれました。

消費生活相談の事例や食の安全性を考えるため、大分県消費者団体連絡協議会等の主催で「地域消費者フォーラム in 竹田」が、9月29日に開催されました。大分県消費者問題研究会によるコミカルな劇等が催され、参加者は楽しみながら学んでいました。



消費生活を学ぼう



第22回 竹田新能

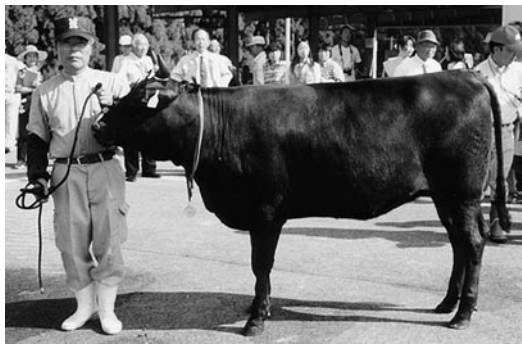
10月15日、竹田市文化会館で、塩津哲生先生を始め喜多流、大蔵流の皆さんが第22回竹田新能を開催、能「項羽」、狂言「素袍落」といった演目を披露しました。また、牧市長も舞台の幕開けを告げる奉りとして特別出演しました。

竹田市畜産共進会

第1回竹田市畜産共進会が、9月26日に久住町家畜総合センターで開催されました。会場には、事前に旧市町地域の畜産共進会で選ばれた肉用牛・乳用牛の種牛81頭が集まり、体つきや肌のつや等の優劣を競いました。

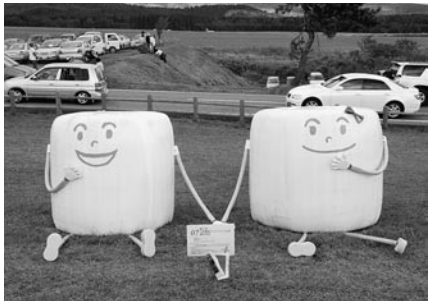
審査の結果、肉用牛のグラインドチャンピオン賞には、大塚興忠さん（直入）のいとかつ号が、乳用牛の同賞には後藤克明さん（荻）のトライユーン・ファースト・ゴールドン号が選ばれました。

なお、この2頭を含め17頭が大分県畜産共進会に竹田市代表として出品されます。



↑大塚興忠さんといとかつ号

まちの話題



↑シンプルだけど目を惹く作品です。

久住高原で、アトラクションを楽しみながら七輪でバーベキューを焼く第35回久住高原祭りと第4回久住高原牛肉祭りが、10月2日に星ふる館周辺で開催され、用意された3,000食分の肉もお昼過ぎには売り切れるほど、多くの人が訪れました。

また、会場には牧草を包んだロールに絵を描いた第2回久住高原ロールペイント大会の作品も並べられ、華やかな彩りを添えていました。



↑おいしい焼き肉を満喫しています。

さわやかな高原の空気を吸いながら



県内回るウォーキング

大分県ウォーキング協会が主催し大分県内各地で開催、今回で第43回を数える一村一ウォーク荻町大会が、10月2日に福祉健康エリアをスタート地点に開催されました。

参加者は、それぞれ体力に合わせて10キロ、20キロのコースを歩いていきました。



↑石垣を刈る九州電力の職員さん



楽しいフットサル

竹田スポーツレクリエーションクラブが、10月2日に小学生フットサル大会を総合運動公園陸上競技場で開催しました。フットサルは1チーム5人、交代は自由と手軽なサッカーです。大会後にはクラブに入会する子がいたほど、楽しいゲームができました。

私たちの町をきれいに

秋の行楽シーズンを控え、10月1日、九州電力グループと市民ボランティアが岡城跡の大手門周辺を中心に草刈り等の清掃を行いました。

10月15日には、直入地区PTA連合会が主催して直入地区でごみを拾う親子ボランティア美化活動が行われ、多くの親子が参加しました。



テイスティング 独ワイン

長湯温泉のラムネ温泉館で、直入日独協会（首藤勝次会長）主催による旧直入町の姉妹都市バートクロチンゲン市産等のドイツワイン試飲会が10月11日に催されました。

直入町でしか購入できないものも含め48種類のワインの味と香りを楽しみました。



↑ごみは分別して集めるんだ

つれづれ えっせい

キロ ヘクト デカ デシ センチ ミリ
k · h · da · d · c · m

「キロキロとヘクト、デカけたメートルがデシにおわれてセンチ、ミリミリ」これはメートル法単位の接頭語の語呂合わせです。例えば、長さでは $0.001\text{km} = 0.01\text{hm} = 0.1\text{dam} = 1\text{m} = 10\text{dm} = 100\text{cm} = 1,000\text{mm}$ となります。

h や d は馴染みのない語ですが、気圧単位の hPa や液量単位の dl 等に使われています。



↑ ml で量るワイン



奏でる音の先に広がる久住高原

TAOリーダー 水藤義徳

第2回



TAOは、久住高原が魅せる大自然からインスピレーションを受け、様々な楽曲を創作してきた。そしてそれらの楽曲を演奏する時には、自分たちが感動した風景を心に想い描きながら表現するよう努めてきた。舞台で演奏を重ねるうちに、「この曲が生まれた久住高原を見てみたい」という声が届くようになり、お客さん自ら久住へ訪ねてくるようになった。最初は九州のお客さんがほとんどだったが、TAOが演奏の場を広げ九州から頻繁に出るようになると、今度は日本全国から久住へ足を運んでくれるようになった。そして今年、日本を出てワールドツアーが始動したTAOはすでに5か国を股にかけ、今はオランダにいる。久住高原から遠く離れた分だけ、楽曲への想いは更に豊かさを増し、その風景は音となって異国の人々の前に広がっていく。私達が奏でる音楽をきっかけに、世界中から久住を目指す人が出てきたら、どんなに素晴らしいことだろう。ふとこんなことを考えながら、今夜もステージでふる里久住高原に想いをよせている。



↑池松武之亮博士

荻みらい館は、歴史民俗資料館と図書館を併設しています。荻みらい館の一角に荻町名誉町民第1号、池松武之亮博士のコーナーがあります。

先生は、明治45年熊本県津奈木村に生まれ、父寛光の荻村での病院開院により荻村に転居してきました。荻尋常高等小学校を卒業し竹田中学校、大邸医専を卒業、昭和17年千葉県野田市で耳鼻咽喉科病院開院、日本耳鼻咽喉科学会評議員、日本学校保健会評議員、世界肝臓会議名誉会長等を歴任、「いびき博士」として知られています。

先生がいびきの研究を始めた動機は、昭和27年春、いびきが原因で嫁いだ初日に離婚を言い渡された花嫁

荻みらい館といびき博士

の治療にあたったことがきっかけだったそうです。

先生は、ふるさと荻をこよなく愛し、町出身者を数多く看護婦に採用、帰郷の際は、学校を訪れ児童生徒の健診をしたり、平成2年に没するまで多額の寄付をされ、歴史資料館の建設を望まれていました。

荻みらい館が、地域の先人の歴史資料が充実され、多くの人が図書室を利用し、心豊かにそして明日への心の糧として湧泉ように続くことを願っています。

(本田照昭)



↑荻みらい館内観

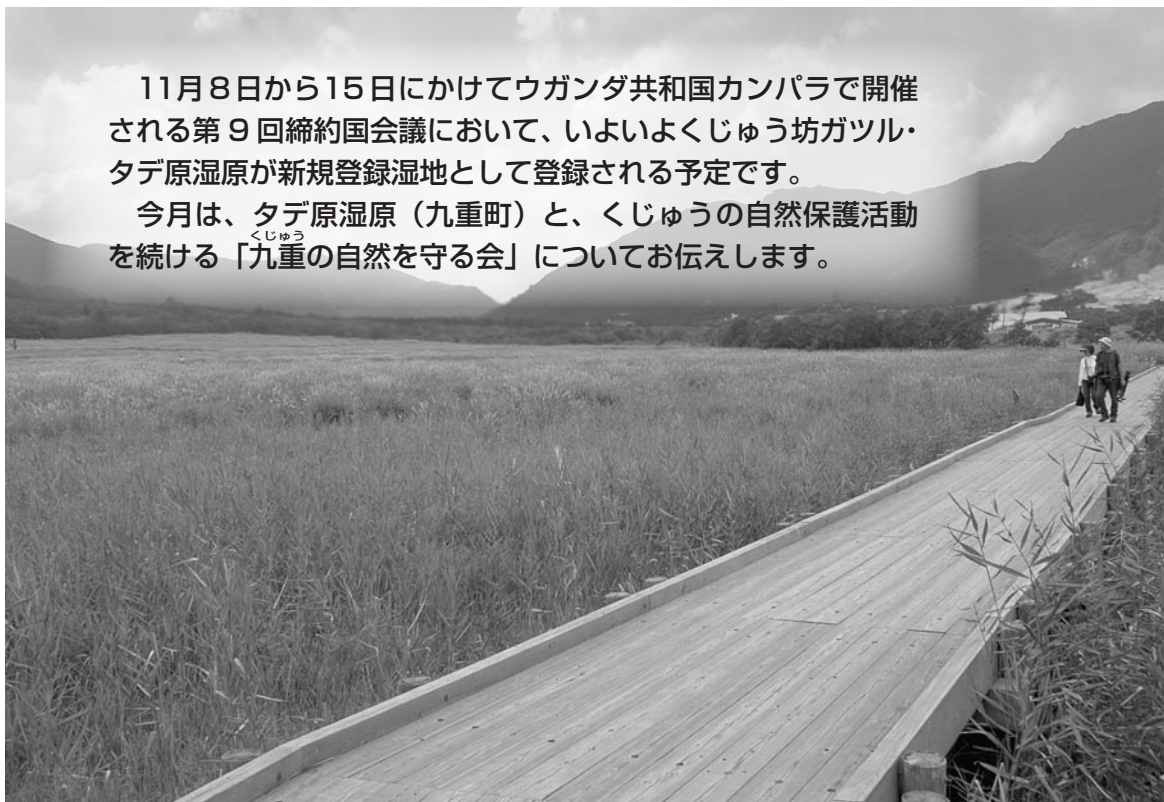
荻みらい館と博物館

②

「タデ原^{わら}ハイウェイ沿いの景勝地」

11月8日から15日にかけてウガンダ共和国カンパラで開催される第9回締約国会議において、いよいよくじゅう坊ガツル・タデ原湿原が新規登録湿地として登録される予定です。

今月は、タデ原湿原（九重町）と、くじゅうの自然保護活動を続ける「九重の自然を守る会」についてお伝えします。



「タデ原湿原」

タデ原湿原は、阿蘇くじゅう国立公園内の飯田高原の南に位置します。面積は約40ヘクタールで、竹田市からはくじゅう連山の反対側、車で約40分ほどの距離にあります。周囲は三俣山、指山、星生山、黒岩山、泉水山に囲まれ、ほぼ中央を白水川が流れています。

タデ原湿原を含む周辺地域は長者原と呼ばれ、くじゅう連山を望む景勝地として、また、やまなみハイウェイ沿いにあるアクセスの容易さから、多くの観光客が訪れます。

湿原の入り口には、くじゅうの自然を模型や映像で紹介する環境省長者原ビジターセンターが建ち、湿原内では木造の自然研究路（約2・5キロ）を歩いてもらう等、自然と触れ合いながらも、自然を保護する工夫が感じられます。

「九重の自然を守る会」

九重の自然を守る会は昭和

30年に飯田高原ガイド教室として始まり、36年に守る会として発足しました。現会員は約300人です。

主な活動は、毎週日曜・祝日に、人々に自然を身近に体験してもらい、自然と人のつながり、自然の大切さを実感してもらおうと開催している自然観察会ですが、この他にもくじゅう全域に渡り、野焼きやごみ拾い、植樹・播種、登山道の補修等の積極的な自然保護を行っています

「自然を守るために」

九重の自然を守る会会長の嶋田裕雄会長は「ラムサール条約に登録されるということで、訪れる人が増えていきます。自然は、私たち皆で守ることが基本です。例えば、写真撮影のために自然観察路から湿原の中に入る人がいます。その時、規則だから入らないでくださいと否定的に強制するよりも、いつか咲く花のために湿原に入らないようにしよ

うと考えて、自然を美しく保つために協力するとう、みんながそんな気持ちになってほしいと思っています」

「ラムサール条約に登録されるような自然が個々に残っていると認められたことが、自然を守る活動をしてきた身として嬉しく思います。先人たちが守ってきた自然を、次の世代に美しいままに伝えていきたいと思います」と語ってくれました。

「久住坊ガツル・タデ原湿原」ラムサール条約登録記念事業

日時	11月19日(土)	10:00～12:00
内容	第1部	記念式典
	第2部	講話「くじゅうの自然」について
	講師	九重の自然を守る会 会長 嶋田裕雄
	第3部	タデ原湿原散策 ※雨天中止
共催	竹田市・九重町・九重の自然を守る会	

国民年金保険料を年末調整や確定申告する際に「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」等の証明書の添付や提示が義務づけられました。

所得税法の一部が改正され、平成17年分の所得の申告から、国民年金保険料を社会保険控除として申告する場合は、1年間に納付した国民年金保険料を証明する書類を添付することが義務づけられました。

このため、生命保険会社等から送付される控除証明書と同様に、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明した控除証明書(ハガキ)が、社会保険庁から11月上旬に送付されます。年末調整又は確定申告の手続きの際は必ずこの証明書や領収証書が必要となりますので、申告を行うまで大切に保管してください。

お問い合わせは、社会保険庁から送付される「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に記載されるお問い合わせ先をご覧ください。

●お問い合わせ 市民課年金係
☎ 63-11111
(内線113)



料金後納郵便

878-85☆☆

竹田内大字金々々☆☆◆番地

年金 太郎 様

国民年金保険料を社会保険料控除として申告(年末調整・確定申告)する際は、この証明書等を添付等する必要があります。

この証明書についてのお問い合わせ先
☎ 0570-00-9911 (午後5時00分～午後7時00分)
※第一勧業銀行・みずほ銀行から、市内通話料金でご利用いただけます。
※FAXでも、FAXの受付時間(午前9時～午後5時)に限りご利用いただけます。
裏面の「年金加入状況のお知らせ」のお問い合わせ先
☎ 0570-05-1165

お問い合わせが集中する時期は、電話がかかりにくい場合があります。また、お問い合わせの内容により、下記の社会保険事務所へ電話を転送させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
(※休日の場合は、平日へ転送して頂きます。)

〒999-9999

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書

納付者氏名 年金 太郎 様
住所 竹田内大字金々々☆☆◆番地

あなたが、平成17年中(1月1日から9月30日)に納付した国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明いたします。

証明日 平成17年9月30日
社会保険庁総務部総務課 印

平成17年中の納付済保険料額	
①納付済	納付済保険料の証明額
②見込額	証明日後から、17年中に納付が見込まれる保険料額
③合計額	見込額を含む合計額(①納付済+②見込額)

① 上記の「①納付済」欄の証明額は、平成17年1月1日から9月30日までの間に納付していただいた保険料額の総額です。
② 上記の「②見込額」は、証明日時点での納付方法で引き継ぎ年末までに納付していただいた場合の保険料額を表示しています。
③ 「③合計額」は、「①納付済」と「②見込額」の合計額です。

○ 以下の場合は、②見込額を表示していませんのでご了承ください。
・既に他の年金制度(厚生年金保険等)の被保険者となっている場合
・平成18年3月までの保険料を前納されている場合
・保険料の未納期間があるなど、今後の納付が予測できない場合など

左の「①納付済」欄の証明額は、下記の「済」で表示した月分の保険料額を合計しています。また、「②見込額」欄の額は、「見」で表示した月分の保険料額の合計額です。

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平成17年	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済
平成16年		済	済	済	済	済	済	済	済	済	済	済
平成15年			済	済	済	済	済	済	済	済	済	済
平成14年				済	済	済	済	済	済	済	済	済
平成13年					済	済	済	済	済	済	済	済
平成12年						済	済	済	済	済	済	済
平成11年							済	済	済	済	済	済
平成10年								済	済	済	済	済
平成9年									済	済	済	済
平成8年										済	済	済

○口座振替で毎月納付されている方へ
「保険料の納付期限」は、翌月末日(末日が休日の場合は翌月最初の営業日)です。このため、11月分保険料(早割の方は12月分保険料)の納付期限は、12月31日が休日のため、翌年1月4日となりますので、その保険料は見込額に含めておりません。(翌年分の控除対象となります。)

○社会保険料控除(年末調整・確定申告)を申告される方へ
上記の「①納付済」欄の額または、「③合計額」で申告される場合は、申告書提出する際に、この証明書を添付していただければ、領収証書の添付は必要ありません。
ただし、証明日から12月31日までの間に、上記の「済」または「見」以外の月分の保険料を納付していただいた場合は、その額を左記の「①納付済」欄の額(②見込額がある場合は、「③合計額」の額)に加算した額を申告してください。その際は、加算した分の領収証書を添付する必要があります。

↑この社会保険料(国民年金保険料)控除証明書は見本です。

**印鑑登録証(カード)への
引替交付はお済みですか?**

旧市町の2月または3月の広報誌でも広報を行いました。が、新竹田市発足に伴い、4月1日から印鑑登録証(カード)への引替交付を行っています。市民課・市民生活課の窓口へ旧印鑑登録証をご持参いただければ、引替交付を行います。

代理人が旧印鑑登録証を持参された場合でも引替交付を行います。が、その際は、登録者本人の住所・氏名・生年月日を確認させていただきます。なお、旧登録証を紛失された人は、亡失届と新規登録の手続きを行ってください。

●お問い合わせ
市民課市民係又は
各総合支所市民生活課

印鑑登録証

登録番号
00000
00000



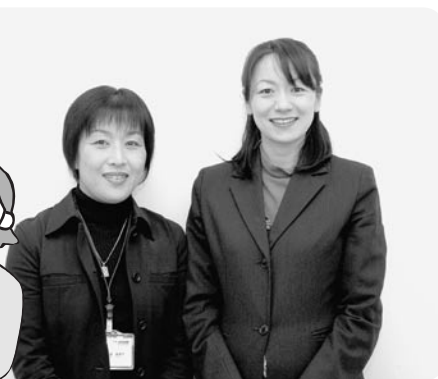
竹田市長



保健だより

竹田市健康増進課 ☎63-4810
 荻総合支所保健福祉課 ☎68-2214
 久住総合支所保健福祉課 ☎76-1419
 直入総合支所保健福祉課 ☎75-2142

今月は
私たちが
お知らせします



渡辺由美子

伊藤さおり

荻の愛育班活動を 紹介します

愛育班は、昭和9年に天皇陛下がご誕生になった際、母子衛生の向上を目的に、昭和天皇から贈られたご下賜金をもとに恩賜財団母子愛育会が設立されたことに伴い発足した全国組織です。

竹田市荻愛育班は、「ふれ愛、みつめ愛、たすけ愛」を活動テーマに住民の健康づくりと住みよい地域づくりをめざして平成6年度に発足しました。荻地域は生活習慣病の増加と年間を通しての農作業による心身の負担が問題になっており、健康に関心はあるが行動の変化に結びついていない現状でした。そこで地域に



↑皆さんでカボチャをネタに楽しい食事

根づいた健康づくり、地域の健康に住民自身が考える機会を持つてもらおうと「モデル地区健康教室」を平成6年から実施し、健康づくりを継続しようという機運が高まり、愛育班が発足しました。特徴的な活動として、ジャンボかぼちゃの苗を配布しての声かけ訪問、地区ごとの愛育班まつり、健康学習会等があります。

乳ガンでお悩みの方、 やよい会に入りませんか？

7年前、いつものように乳ガン検診車に気楽に乗り込みました。検診をすませ家に帰ると、連絡をもらい再検診。

1週間後、検診センターから電話で、病院を紹介され入院。病院では乳ガンの仲間と知り合い、手術後退院まで楽しく過ごしました。

退院後は仕事ができるのがうれしく、ハリキリすぎて浮腫が始め、右腕に痛みもあり、体に苦痛を感じていました。5年前、クワージュ湯布院で、湯中トレーニングを始めたところ、痛みがやわらぎ浮腫の状態も徐々に落ちつき

ました。そして、自己流でトレーニング、マッサージを覚え患者仲間にも教えています。

私は乳ガン患者の会、やよい会に入っています（県内には5つの患者会があります）。

乳ガンの手術後、病気のことやリハビリのこと等を一人で悩んでいる時、私を励ましてくれたのはやよい会の人たちでした。今の生活もこの会との出会いがあったからと感謝しています。やよい会は乳ガンを体験した人、不安を抱え一人で悩んでいる人、乳ガンに関心を持っている人、乳ガン患者の家族や友人たちの集まりです。

年間行事は5回で、先生や看護師との交流会、講演会、旅行や食事会等仲間が楽しいと思える行事内容です。1月には、1泊旅行の予定です。ホームページもあります。

<http://jns.ixla.jp/users/yayoi777/>です。

ややこしいと思ったら「やよい会」だけでも開きます。

皆さん年1回の健康診断は絶対必要ですよ。死ぬまで健康で元気にいのちをきしましう。

小野君子（直入町）

高齢者インフルエンザ 予防接種を行います。

実施期間 11月1日～

平成18年1月31日まで

対象者 竹田市民で65歳以上、または60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能やヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に日常生活行動が極度に制限される程度の障害（前記内臓疾患による身体障害者手帳一級程度）を有する人

接種料金 接種料金3,000円のうち、自己負担金として1,500円を医療機関窓口でお支払いください。なお、生活保護受給中の人は、福祉事務所が発行する証明書を医療機関窓口で提示すれば無料となります。

注 意 接種は市内契約医療機関での個別接種です。希望する医療機関に事前にお問い合わせください。また、接種される際は、保険証、健康手帳（お持ちの人）またはお薬手帳をご持参ください。

●お問い合わせ

健康増進課管理係
 ☎63-4810

アルコール①

竹田医師会病院から⑧

酒は百薬の長と言われますが、これは中国古代の史書「漢書」から出た言葉で、酒はどんな薬よりも効果があるという意味です。酒を飲みつづつたりとした気分では飲めばストレスを解消できますし、食欲増進や血行改善、体を温めるなどの効果もあります。

アルコールは胃から20%、小腸から80%が吸収され、その後、血液に入って数分のうちに全身にしみわたります。アルコールが脳に到達すると脳神経細胞の働きを悪くして判断力が鈍ったり、手足の動きが悪くなったりします。

脳の神経細胞にはいろいろな種類があつて、その中のひとつに抑制系の細胞があります。これらは脳のブレーキの役目をしていて、冷静さを保つのに重要で、酔うとまず最初にこの抑制系の細胞の働きが悪くなるので、声が大きくなつて陽気になったり、話し始めるのと止まらなくなつたりするのです。ドンチャン騒

ぎも酒無しではなかなかできることではありません。

「今日はこんなに仕事をしたのだから無理をしないで、この辺でやめておこう」と考えるのは脳の抑制系の神経細胞の働きによるもので、体にブレーキをかけてくれるのです。

ところが「今日はもうこんなに酒を飲んだのだから、そろそろやめにしておこう」と考えるのも脳の抑制系の働きですが、都合の悪いことに酒を飲むとこの働きは悪くなり、飲みすぎしてしまうのです。

自分でブレーキがかからなくなるので、いつまでも飲んでしまい、まわりのしらふの人から「いい加減にやめなさいよ」としかられるわけです。

このようなことをふまえて、強い決意で酒の適量を守りたいものですね。

次回はアルコールの害について述べます。

(竹田医師会病院副院長

整形外科 大多和 聡)

みんなの介護保険

今月は、高額介護サービス費についてお知らせします。

利用者負担上限額を超えた場合、超えた額が高額介護サービス費として支給されます

介護保険制度では、所得に応じて、利用者負担合計額に世帯単位で上限額が設定されています。これを「利用者負担上限額」といいます。

1か月間に支払った介護サービス利用者負担合計額が、この「利用者負担上限額」を超えた場合、超えた額が申請により、「高額介護サービス費」として支給されます。

10月から、利用者負担上限額の一部が変更になりました

10月に介護保険制度が一部改正され、利用者負担上限額の一部が変更になりました。

利用者負担段階区分	利用者負担上限額
一般世帯	世帯 37,200 円
市民税世帯非課税	世帯 24,600 円
※ 1 合計所得年額と課税年金収入の合計額が 80 万円以下の方(新区分)	※ 1 個人 15,000 円
※ 2 老齢福祉年金の受給者	※ 2 個人 15,000 円
生活保護受給者(又は利用者負担上限額 15,000 円とすれば生活保護受給者とならない場合)	個人 15,000 円 世帯 15,000 円

この改正によって、市民税世帯非課税の段階区分が細分化され、所得が低い方も介護サービスを利用しやすくなりました。

※次の負担は、利用者負担合計額に含まれません。

イ 施設での介護保険給付外のサービスの利用者負担
ロ 福祉用具購入費及び住宅改修費に要す利用者負担

10月サービス利用分以降から、支給申請は初回のみで、それ以降の申請手続きは不要になります。

【申請手続き(初回のみ)】

印鑑と、1か月間に支払った介護サービスの領収書を持参してください。

「介護保険特定負担限度額認定証」について

9月にお知らせした「介護保険特定負担限度額認定証」は、有効期限が翌年度の6月30日までとなっています。ただし、次の項目に該当する場合は無効となります。返却が必要となりますのでご注意ください。

イ 市民税を課税されている方が家族に加わった場合

ロ 生活保護を受けなくなった場合

●お問い合わせ 保険課介護係

☎ 63-1111

(内線132・138)



第7回大分県民芸術文化祭
開幕行事として、9月25日、
大分市のiichikogラン
シアタでおおいたこどもフェ
スタ、創作舞台「MIKEの
出発」の公演が行われました。

大分巡る MIKEの^たび^ひ出発



竹田市在住の安東達夫さん
の脚本で、佐藤義美の「犬の
おまわりさん」を下敷きに、
お母さんを探して大分県内を
巡る子ねこのMIKEを中心
に、子どもたちが真剣に役を
演じていました。

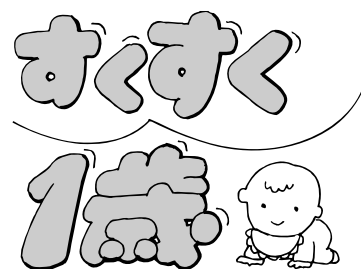
三重総合高校安全祈願祭

平成18年4月に豊後大野市
三重町に開校する三重総合高
校の安全祈願祭が、9月27日
に建設現場の三重農業高校敷
地内で、深田秀生大分県教育
長をはじめ、関係者が出席し
開催されました。

平成18年3月下旬には、県
産木材を多く使った木造の校
舎が大分県に引き渡される予
定です。

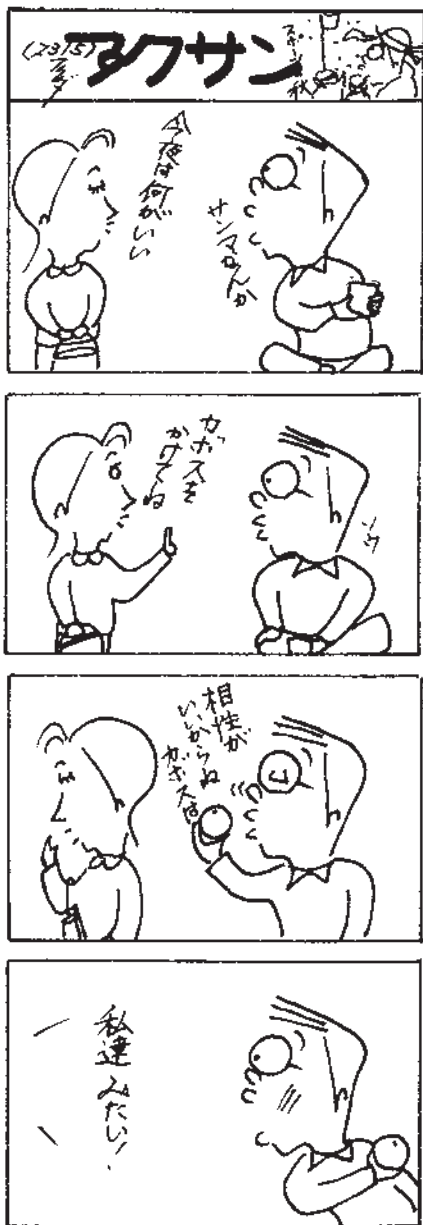


↑ 鋤入之儀



平成16年11月生まれ

平成16年12月生まれの
お子さんの写真を
募集しています！



今月の新刊案内

〔一般の本〕

その日のまえに 重松 清
私以上でもなく、私以下でもない私 朴 慶南
誰よりもつよく抱きしめて 新堂 冬樹
ハルとナツ～届かなかった手紙～ 青木 邦子
ももこタイムス さくら ももこ
ちくちく針しごと 伊藤 まさこ

〔子どもの本〕

たまごねえちゃん あきやま ただし
タンタン ソビエトへ エルジェ
あなたがだいすき 鈴木 まもる
フレディ1～5 ディートロフ・ライヒェ
命を食べるおじいちゃん 木暮 正夫
ほか、70冊購入しました。

「おはなしルーム」

日時 11月9日(木)
13:30～
場所 竹田幼稚園

「おはなしタイム」

日時 11月22日(火)
10:30～
場所 荻みらい館

〔一般書〕

「モノとわかる! 生き方の整理整頓」
大塚 敦子 (岩波書店)



モノをなかなか捨てられない人にお勧めの1冊!
もっとシンプルな暮らしの中で本当に大切なものが見えてくるかも…。

司書おすすめの一冊

〔児童書〕

「おさるのたしさん・うさぎのひきさん」
かすや なみ (ポプラ社)



えとすうじで
あそびながら、おべんきょうできる
絵本です。さるやうさぎといっしょ
なら、さんすうだったのしいよ!

キリトリセン

キリトリセン

誕生おめでとう

9月生まれ
(親・自治会)





郷土の植物

阿孫 久見

第8回

タヌキマメ (マメ科)

山野のやや湿った日当たりのいい場所に好んで生育する高さ50センチほどの一年草です。全体に黄褐色の長い毛が多く、それが特徴です。またマメ科ですが葉が単葉(葉身が1枚からなる葉)で、葉の基部に1対の針状の托葉(付属体)があります。

互生の葉は広線形で、長さが10センチ、幅が6センチほどです。秋の頃、茎の先に径1センチほどの青紫色の蝶形花を10個内外総状に咲かせます。花は半日でしぼみます。花より黄褐色の豆が長く、長さ1センチほどの豆果を包みます。結実すると黄褐色の毛におおわれたラグビーボール状の萼がぶら下がり、この様子をタヌキに見立てて、狸豆の名があります。

竹田では久住高原のくぼ地や田んぼの畦などで観察できましたが、急速な草原開発やほ場整備で、ほとんど消滅しました。

花期は9月から10月です。



**新竹田市発足記念
第1回人権を守る市民の集い**

日時 11月16日(水)
13時30分～15時

会場 竹田市文化会館大ホール

入場料 無料

内容 講演「人の心に花一輪」
講師 タレント桂小金治氏
講師プロフィール
東京都生まれ。1947年、

12月は「人権週間」、12月10日は「世界人権デー」

桂小文治師匠に弟子入り。1949年、二つ目に昇進し、桂小金治となる。1955年、テレビに進出。ドラマに司会に活躍する。

●お問い合わせ
竹田市人権・同和対策室
☎ 63-4820

人権バンド「うた組はぜの木」人権コンサート

日時 11月18日(金)
18時～19時40分

場所 久住中央公民館
(くじゅうサンホール)

入場料 無料

◇10月22日、竹灯籠の材料になる竹の切り出し作業を手伝いに出かけました。もっぱら竹の運び出しや竹切れの焼却を手伝ったのですが、不摂生がたたったり、背中が痛くなりました。◇今年の竹楽は、11月18日から20日にかけて開催されます。この3日間に向けて、多くの市民の皆さんが何か月も準備を重ねています。今月は、その取り組みや意義について、竹田市観光協会副会長の井上隆さんの資料をお借りしてお伝えしました。広報と一緒に配布します。ちらしをチエックして、竹楽を見に行きませんか。(吉野)

竹田市の人口

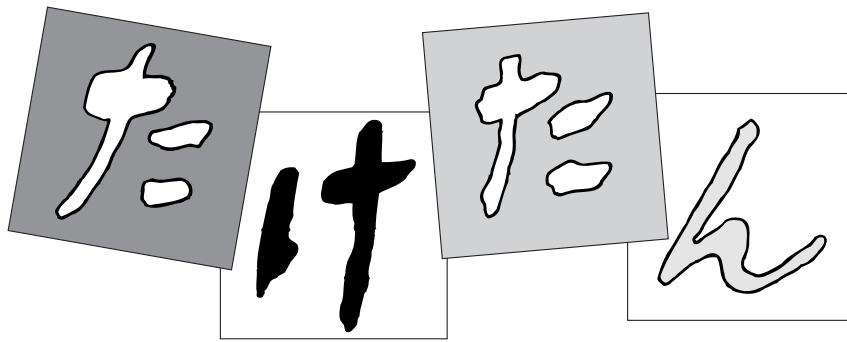
(平成17年10月1日現在)

		(前月比)
人口	27,732人	(-40人)
男性	12,988人	(-24人)
女性	14,744人	(-16人)
世帯数	10,775世帯	(-3世帯)
住民基本台帳登録人数		

キリトリセン

キリトリセン

編集後記



情報



本 庁 ☎0974-63-1111
荻 総合支所 ☎0974-68-2211
久住総合支所 ☎0974-76-1111
直入総合支所 ☎0974-75-2211

第18回九重野IN 緩木森林公園祭り

日時 11月5日(土)
10時～15時30分 ※雨天決行
場所 緩木森林公園、みらい香房若葉、
交流施設「こしきの杜」
主な内容
釣り大会10時30分～(要参加料)、魚
のつかみ取り13時50分～14時、木工教
室、猪鍋&焼き肉&田楽、高倉みどり
歌謡ショー、ジャンボ巻き寿司等

●お問い合わせ 農林畜産課
☎63-4805

神原穴森社三百年祭

日時 11月5日(土) 前夜祭
場所 あ祖母学舎
17時 講演「鎮西の雄・緒方三郎惟栄」
18時 演劇「宇田姫伝説〜穴森物語」
日時 11月6日(日) 9時～15時
場所 健男霜凝日子神社、「緒環」周辺
幻の宝物展、魚のつかみ取り、山海交
流物産展、お楽しみ抽選会等

●お問い合わせ 「緒環」
☎67-2288

第26回荻ふるさと祭り

日時 11月6日(日) 9時～16時
場所 福祉健康エリアグラウンド
主な内容 荻町こども神楽、ブルーフェ
ニックスジュニア、鐵心太鼓、地元産
豚の焼肉、特産トマトケチャップ販売
佐伯市上浦町の海産物販売等

●お問い合わせ 荻総合支所地域振興課
☎68-2211

第17回きむれ城址公園祭り

日時 11月6日(日) 10時～14時30分
場所 騎牟礼城址公園(豊岡)
※雨天時は、豊岡小学校
主な内容 神楽、三日月太鼓、カラオケ
大会、おでんコーナー
※駐車場から会場まで随時シャトルバス
を運行します(高齢者・体の不自由な
人が対象)。

●お問い合わせ 騎牟礼城址公園保存会、
豊岡地区自治会 事務局
☎63-4678 (佐藤)
☎63-0423 (吉岡)

第29回直入地域ふるさと振興祭

日時 11月13日(日) 9時～14時
※雨天中止
場所 直入総合支所イベント広場
主な内容
○ステージ・園児・児童の演技、作文朗
読、農産物競り市、カボタン劇場、白
熊、獅子舞、お楽しみ抽選会等
○イベント広場・豊後直入牛の焼き肉、
味の広場、田主丸出張植木市、各種露
店等
○グラウンド・ゲートボール・グラウン
ドゴルフ大会(9時30分～12時)
○展示広場・県立芸術会館巡回美術展、
ドイツ交流写真展、児童生徒作品展等

●お問い合わせ 直入総合支所地域振興課
☎75-2211 (内線111)

※詳しい日程等は、ホームページで!
<http://www.city.taketa.ota.jp/>

歴史資料館

☎63-1923

「南画の里竹田、文人書画展」

11月20日(日)まで
大分県立芸術会館・大分市美術館の南
画作品を中心に文人画・豊後南画全盛期
の作品約40点を展示します。

「南画の里竹田、歴史資料館所蔵書画展」

11月23日(火)～12月11日(日)
歴史資料館が所蔵する郷土の画人たちの
作品から文人画・豊後南画の作品を紹介
します。

※入館料

大人500円 小中学生100円

※休館日 毎週月曜、22、24日
4日は開館します。

「大分県立芸術会館巡回展」

11月13日(日)

会場 直入総合支所

市民ギャラリー 水琴館

☎63-2200

「第41回大分県美術展写真部巡回展」

11月2日(水)～6日(日)

「第4回志賀北泉水墨画展」

11月8日(火)～13日(日)

「第57回画聖『田能村竹田』先 生を偲ぶ美術祭特賞展示」

11月15日(火)～20日(日)

「いまに生きる職人の文化展」

11月23日(水)～12月11日(日)

※休館日 毎週月曜、1、21、22日

11月のおしらせ

人事異動（平成17年10月1日付）

※新任職・氏名（旧任）

■課長級（消防司令）

▽消防本部庶務課長 見増正幸（消防署本署当直司令（救急・救助担当））▽消防署本署当直司令（救急・救助担当） 真田照幸（消防署緒方分署長）▽消防署緒方分署長 後藤和博（消防本部庶務課長）

■一般職（副士長）

▽消防署緒方分署救急係 後藤幸浩（消防署本署救助係兼装備係）▽消防本部庶務課付 阿部晋一郎（消防署緒方分署救急係）

生活情報

架空債権の請求に注意！

悪質な業者が「法務大臣の許可した債権回収会社」または類似の債権回収業者をかたって、「債権譲渡を受けた」等と架空の債権を請求するケースについての相談・情報が、警察署や市商工観光課「消費生活係」等に寄せられています。

このような請求を受けた場合は以下のとおり対処しましょう。

1. 身に覚えのないものは支払う必要はありません。請求には応じないようにしましょう。

2. 悪質な業者には一切連絡しないようにしましょう。

3. 法務大臣が許可した債権回収会社で

なければ債権管理回収業を営むことはできません。

架空債権の請求は、犯罪にあたる可能性があります。悪質な場合は、最寄りの警察署や商工観光課に相談しましょう。

●お問い合わせ 商工観光課
☎63-4807

イベント

町と村を結ぶ奥豊後ふれあい祭

日時 11月3日（木）9時～16時30分

会場 竹田古町商店街通り

内容 子ども神楽、事業所対抗綱引き大会、丸太切り競争、お楽しみ抽選会、グルメコーナー、子ども広場等

●お問い合わせ 農林畜産課

☎63-4805

温泉療法医研修会公開講座

長湯温泉で開催される九州の温泉療法医研修会が、温泉についての研究結果や、温泉が病気の予防や治療に役立つことをお話しする公開講座を無料で開催します。

からだを温めて病気を治す温泉療法研究の第一人者、伊藤要子先生による特別講演も開催します。

日時 11月12日（土）16時～

会場 直入中央公民館2階会議室

特別講演 「HSPが病気を必ず治す」

講師 伊藤要子先生

（愛知医科大学核医学センター助教授）また、長湯温泉による生活習慣病の改善効果について、伊藤恭先生（伊藤医院）がお話します。

岡田香真流大正琴九州講師会演奏会

日時 11月23日（木）12時30分開場

13時～15時30分

会場 竹田市文化会館大ホール

入場料 500円

●お問い合わせ 岡田香真流大正琴竹田支部会長 森 ☎63-1103

お稲荷さんがまいこみます

日時 11月26日（土）15時～18時（見込）

順路 竹田温泉花水月～古町～本町～歴史資料館～本町～田町～古町

●お問い合わせ 古町祭組合総代会

☎63-2084または☎63-3833

コル竹田・メリーズ10周年記念コンサート

日時 11月26日（土）

18時30分開場 19時開演

場所 竹田市文化会館大ホール

内容 3部構成 1部…合唱

2部…器楽と独唱 3部…合唱

入場料 大人500円 小人200円

●お問い合わせ 副田公子

☎090-7530-0581

はづきチャリティーコンサート

コンサートを主催するはづきメンバー

や地元で活躍中の芸能愛好家、ゲスト出演者による、歌あり踊りありの楽しいショーです。益金は、福祉施設や学校及び台風被害の義援金に充てられます。

日時 11月26日（土）開場17時 開演18時

会場 くじゅうサンホール

入場料 前売り500円 当日700円

●お問い合わせ はづき代表 甲斐強

☎76-0351

第59回竹田市駅伝競走大会

本大会は、昭和23年に直入郡駅伝として開催され、昭和29年に旧竹田市が発足した後も、大会回数を継続して開催されてきました。この伝統と、直入郡駅伝として発足した由来に敬意を表し、本大会を第59回大会として開催します。

日時 11月27日（日）

9時開会式 10時スタート

場所 直入中央公民館

コース 直入中央公民館～都野Aコープ

～久住郵便局～城原小学校～松尾橋～

飛田川野球場～竹田市総合運動公園

（全7区間、30・9キ）

●お問い合わせ 生涯学習課

☎63-4817

奏リコーダーアンサンブル第1回定期演奏会

日時 11月27日（日）

18時開場 18時30分開演

場所 竹田商工会議所大ホール

入場無料

このイベントは、第7回大分県民芸術祭若者文化イベントに認定されています。

●お問い合わせ 奏リコーダーアンサンブル事務局 加藤 ☎62-2508

第8回深山岩戸流神楽交流大会

深山流岩戸神楽は、江戸中期に起こり、明治以降大野郡、直入郡等県南部の各神社に広く伝承された伝統芸能です。

日時 12月4日(日) 9時～16時
場所 荻福祉健康エリア
屋内多目的運動場

参加神楽社 11神楽社、13演目

●お問い合わせ 「橘木俤楽」代表 藤原 ☎68-2267

TAOふるさと凱旋公演2005ファイナル

日時 12月27日(火)

18時30分開場 19時開演

会場 竹田市文化会館 ※全席自由

入場料 大人3,000円

小人2,000円

チケット取扱 竹田市文化会館・くじゅうサンホール他で販売中です。

主催 TAOくじゅう後援会

※後援会会員募集中です！ ふるさと公演の運営や交流会を通して地元で暖かくTAOを支えませんか？ 年会費は1,000円です。

●お問い合わせ

☎090-1165-9830 (川越)

募集

鈴木靖将「竹楽万葉展」
大分県風作成スタッフ兼モデル

11月18日から19日にかけて、ギャラリ―しほやで開催します「鈴木靖将『竹楽万葉展』」では、日本画家鈴木靖将先生が当日作成する大分風のモデルとして10人の女性を募集しています。

●お問い合わせ ギャラリーしほや ☎63-33321

第3回きもので「竹楽」

竹灯籠の灯に揺れる竹田の町を、祇園の芸奴さんと着物姿で歩いてみませんか？ プロが着付けをしますので、初めての人も大歓迎です。

日時 11月20日(日) 14時～

※16時30分から、町を歩きます。

場所 一竹

会費 12,000円

●お問い合わせ 御宿・割烹 一竹 ☎63-2138

「ふるさとの味」贈りませんか？
「奥豊後竹田ふるさと友の会」
会員募集!!

「奥豊後竹田ふるさと友の会」では、皆さんに喜んでいただけた竹田の産物をたくさんご用意しました。遠く離れた友人、知人に懐かしい竹田の味を贈ってみませんか？ 宅配予定の品目は次のとおりです。

しめかざり・大根の漬物・ジャム(サフラン・かぼす)・もち・わりぼし大根・黄粉・てづくり味噌・てづくり鮎・こんにゃく・油揚げ・酒パン・香母酢・竹田のお菓子(岡城もなか・岡城せんべい)・石鯨(サフラン・かぼす)

※品物が変更になる場合があります。会費

1口 4,500円(送料、箱代込み)
申込期限 11月25日(金)

発送日 12月9日(金)

●お問い合わせ・申込み 農林畜産課内

「奥豊後ふるさと友の会」事務局

☎63-4805

古文書実践講座

大分県立先哲資料館の協力を受け、古文書の基礎と扱い方、解読のノウハウ、整理方法を学ぶ連続講座「古文書実践講座」を開講します。

会場 市民ギャラリー水琴館会議室

募集人員 20人(先着順・受講料無料)

日程

第1回 11月26日(土) 講義

第2回 12月3日(土) 実習・講義

第3回 12月11日(日) 実習

第4回 12月17日(土) 講義・実習

第5回 12月24日(土) 講義・実習

※時間は、13時～16時30分の間です。

※講義は先哲資料館講師、実習は歴史資料館による実習(小河家文書)

●お問い合わせ・申込み 歴史資料館

☎63-1923

市民ギャラリー水琴館

☎63-2200

地域の岩石・地層・化石観察会

天下の三堅城と呼ばれた岡城。その基礎は阿蘇の火山活動により形作られています。岡城を地質学の面から見直してみよう。

皆さん親子で参加してみませんか。

講師 工藤幸久

日時 12月4日(日) 10時～15時

10時 竹田創生館集合

参加費 大人 1,000円

高校生以下 無料
※筆記用具と弁当・飲料を持参してください。服装は歩きやすいもので、帽子・軍手・タオル等を準備してください。

●お問い合わせ・申込み 竹田創生館

☎62-4100

電源センター研修

研修名 「地域農業の高付加価値化方策を考える」

中山間地域の再生、農業の総産業化(6次産業)を目指し、農産物の販売ルート、販売方法を学びましょう。

日程 12月8～9日

場所 電源地域振興センター(東京)

募集×切 11月15日(火)

募集人員 4人

●お問い合わせ・申込み 竹田研究所

☎63-4807

「郷土学(先人学)」事業助成金

助成金限度額 50万円

※事業費総額の90%以内とします。

応募条件 平成18年4月1日以降に事業を開始し、平成19年3月31日までに完了することを原則とします。

申請方法 日本財団公式ホームページもしくはFAXで申請書を請求してください。インターネット申請も利用できます。

●お問い合わせ・申込み 日本財団

公益・ボランティア支援グループ

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

☎03-6229-5161

FAX 03-6229-5160

案内

新竹田市合併記念

㈱レゾネイト20周年記念

竹田市民記念宿泊のご案内

創業20周年を迎える㈱レゾネイトでは、新竹田市合併と創業20周年を記念し、新竹田市民を対象に、記念宿泊（レゾネイトクラブくじゅう「客室無料」招待）等を次の宿泊施設で提供します。

また、「貸切バス事業」でも特典があります。詳しくは、各施設へお問い合わせください。

対象 竹田市民

期間 平成17年12月1日（木）～平成18年2月28日（火）の間の平日

※土曜・休前日・年末年始を除きます。

利用方法 予約の際、「広報たけたを見た」と申し出て、宿泊の際、「広報たけた」を提示すれば、特別料金で利用できます。

対象施設・事業

「レゾネイトクラブくじゅう」

竹田市久住町大字有氏1773

・レギュラー客室（定員4人）を1室

まで室料無料 ※要問い合わせ

☎76-1223 受付9時～18時

「久住高原コテージ」

竹田市久住町大字白丹7571-23

・一人1泊2食付5250円（税込）

☎64-3111 受付9時～18時

「湯布院温泉お宿有楽」

由布市大字川上2868-5

・1室あたり10,000円引

☎0977-2812700

受付9時～21時

「貸切バス事業」

・20人以上で本特別料金利用の際、竹

田市内からの送迎無料

・貸切バスのみ利用の際、基本料金か

ら10,000円引き（平成18年5月

31日まで）

☎64-3155 受付9時～18時

温泉療養文化館「御前湯」入浴料のご案内

これまで旧竹田市、旧荻町、旧久住町の地域にお住まいの方の入浴料は、お一人500円（大人）いただいていた

が、今年4月1日から市内料金の300

円で入浴できるようになりました。

新竹田市にお住まいの方の入浴料

大人 300円

70歳以上の方・3級以上の身体障害者

手帳をお持ちの方 200円

小学生以下 200円

●お問い合わせ 温泉療養文化館御前湯

☎64-1400

里親制度説明会

里親とは、親の病気や離婚等様々な事

情によつて、家庭で生活できなくなった

子どもを自分の家庭に迎え入れ、愛情と

まごころを込めて養育する人です。

子どもが大好きで、健康的で明るい家

庭であれば、里親になるのに特別な資格

は必要ありません。

大分県では、次の日程で里親制度の説

明会を開催します。

日時 11月18日（金） 13時～15時

場所 竹田市総合社会福祉センター

健康相談室

●お問い合わせ 大分県中央児童相談所

☎097-544-2016

福祉事務所 ☎63-4811

うつ病対策県民講座

日時 12月1日（木） 13時30分～16時

受付12時45分

会場 総合文化センター（大分市）

講演「うつ病の理解とその対応」

講師 防衛医科大学校精神科学講座

野村総一郎教授

参加費 無料

●お問い合わせ

大分県精神保健福祉センター

☎097-541-6290

FAX 097-541-6627

ご存じですか？ 公証制度

法務大臣から任命された公証人は、各

種契約や遺言等に関する公正証書を作成

します。公正証書は、裁判等で強力な証

拠になるばかりでなく、紛失や改ざんの

心配がない等、後日の紛争を防止する上

で大きな役割を果たしています。また、

公正証書遺言により遺産相続に伴う親族

間の紛争を防止することもできます。

●お問い合わせ 大分公証人役場

☎097-535-0888

他県内4箇所の公証人役場

相談

成年後見無料相談会

成年後見制度とは、精神上の障害（認

知症・知的障害等）があるなど、判断能

力が不十分な人々を保護し支援するため

の法制度です。

日時 11月5日（土） 10時～15時

場所 司調会館3階大ホール

大分市城崎町（大分地方法律局横）

対象者 独居、認知症等の高齢者・知的

障害者等のご本人、ご家族等で、将来

または現在の財産管理等に関して相談

したい人

物忘れがひどく社会生活を送ることが

困難になつてきたが頼る人がいない人

成年後見制度について知りたい人

相談方法 来訪による相談の他、電話に

よる相談も行います。

☎097-533-4110

相談担当員 司法書士・社会福祉士他

●お問い合わせ 大分県司法書士会

☎097-532-7579

心の悩み無料相談会

大分県では、平成17年10月から、NP

O法人「心の支援センター」に委託して、

非行等の問題を抱える青少年及びその保

護者を支援するため、無料個別相談会や

学習会等を開催しています。

日時 毎月第1火曜 10時～20時

場所 竹田直入地方振興局会議室

相談内容 いじめや不登校・非行・家庭

教育のあり方・人間関係、今ある不安

や不満など

森林カウンセリング

子育てをもつと気楽に、家族関係を豊

かにするために、研修会を開催します。

日時 11月12日（土） 10時～16時

会場 あ祖母学舎

主催 大分県

NPO法人心の支援センター

対象 青少年・保護者・教育関係者

参加費 800円（昼食代含む）

申込み切 11月10日（木）

市民遊学館 パソコン教室受講生募集



11月18日
必着です。

竹田市中央公民館では、パソコン教室を開設いたします。裏面の申込書に必要事項を記入の上、竹田市中央公民館までお申し込みください。

1.内容 ①基本コース(昼)

②基本コース(夜)

③年賀状作成コース(昼)

④年賀状作成コース(夜)

2.時間 昼コース 13時30分～16時30分

夜コース 18時～21時

3.期間 11月最後の週から週2回(火・木)

①②は、4回で1講座

③④は、2回で1講座

・基本コース：パソコンの基本操作から、インターネットやメールの送受信。

・年賀状作成コース：年賀状を作ってみる。

※申込書は裏面を使用してください。

キ リ ト リ セ ン

●お問い合わせ・申込み

NPO法人心の支援センター事務局
大分県宇佐市大字下拝田506-1

☎0978-323712

竹田地区担当者 野々下

☎080-5274-3359

全国一斉「女性の権利ホットライン」電話相談

日時 11月20日(日) 10時～17時

電話 097-532-0164

場所 大分地方方法務局

相談内容 夫やパートナーからの暴力、職場でのセクシャルハラスメント、つきまと(ストーカー)、その他の人権問題

担当者 人権擁護委員、法務局職員

キ リ ト リ セ ン

その他 大分地方方法務局では、平日8時30分から17時まで上記の電話にて常時相談に応じています。

●お問い合わせ 大分地方方法務局人権擁護課内 大分人権擁護委員連合会

☎097-532-3161(内線36)

保健衛生

はなしかなしが無料歯科健診

日時 11月8日(火)

場所 大分県下の無料歯科健診ポスターを掲示している歯科医院

主催 大分県・大分県歯科医師会

対象の歯科医院では、11月8日に限り、無料歯科健診を実施します。

受診者には、検診結果を記載した「歯の健診手帳と記念品」をお渡しします。

※昨年の無料歯科健診を受診して「歯の健康手帳」をお持ちの人は、当日の健診に持参してください。

平成17年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動九州地区大会

麻薬、覚せい剤、大麻、シンナー等の乱用は依然として多発しており、特に青少年の間で薬物乱用に対する警戒心や抵抗感が薄れるといった傾向も見られ、「第3次覚せい剤乱用期」の危機的な情勢が続いています。

本大会は、広く地域住民に麻薬・覚せい剤等の乱用による被害を認識させ、薬物乱用のない社会環境作りに取り組む機運を高めるために開催します。

日時 11月19日(土) 13時30分～16時

場所 ビーコンプラザ(別府市)

内容 講演、体験発表

主催 厚生労働省、大分県、大分県薬物乱用対策推進地方本部

●お問い合わせ 大分県福祉保健部薬務室

☎097-536-1111

(内線2649)

原爆被爆者二世に対する無料健康診断

健康診断対象者

両親、又はそのどちらかが原爆被爆者で、大分県内にお住まいの人

申込期間 11月7日(月)～12月15日(木)

申込方法 受診を希望する人は、竹田保健所に申し込んでください。

●お問い合わせ・申込み

竹田保健所 ☎63-2187

平成18年度母子健康手帳表紙デザインを募集します

目的 妊娠、出産、育児を通じた母と子の一貫した健康管理と健康の保持増進について、広く県民にアピールするとともに、妊娠婦に「個人が持ち歩くカルテ」母子健康手帳に親しみをもちもらいます。

応募資格 大分県内在住の人

応募作品

- ・母子が親しみやすい図柄で15センチ四方程度にまとめたもので原則カラー
- ・他に未発表のもの
- ・作品裏に、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のこと

- ・採用作品の著作権は大分県に帰属
- ・応募作品は返却しない

応募締切 12月22日(木)必着

●お問い合わせ・応募先 大分県福祉保健部健康対策課母子保健班

☎870-8501

大分市大手町3-1-1

☎097-536-1111

(内線2672)

教育

南部小学校・祖峰中学校不用品公売

南部小学校の屋内運動場の改築に伴う不用品と3月末で閉校しました竹田市立祖峰中学校の不用品の公売を行います。

■南部小学校

日時 11月21日(日) 9時30分～

場所 南部小学校屋内運動場玄関

公売するもの 体育館にある不用品

パソコン教室申込書

フ お	リ 名	ガ 前	ナ 前	年齢	電 話 番 号
郵便番号		ご 住 所			
希望コース番号		テキスト			
		必 要		不 要	

※希望コース番号は、表面1.内容の①②③④から一つお選びください。

※会費は1,000円（テキスト代）です。

・ 昨年のテキストと同じものを使用しますので、お持ちの方は必要ありません。

・ テキストが必要かどうか○印をお願いします。

※希望者多数（定員/各コース20名）の場合は、抽選となります。

※受講者少数のときは、開講しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■問い合わせ・申込先

竹田市中央公民館 竹田市大字玉来1-11

TEL63-1044・FAX63-2735

キ リ ト リ セ ン

キ リ ト リ セ ン

全面禁煙にご協力を

●お問い合わせ 教育委員会総務課

☎ 63-4816

税金

学校敷地内・校庭・体育館の利用には許可が必要です

学校施設の利用には、許可が必要です。市町村合併前に許可を得て、新しく許可をもらわれない利用者等は、あらためて確認をお願いします。

今年6月から幼稚園・小学校・中学校では敷地内の全面禁煙を実施していますが、児童生徒から「吸い殻（空き缶）を拾った」という声が先生に寄せられています。来訪者、施設利用者の皆さんにもご協力をお願いします。

「個人事業税」第2期の納期限は11月15日です。

個人事業税第2期の納期限が近づいてきました。忘れずに納めましょう。

なお、納税には、便利な口座振替の制度をご利用ください。

●お問い合わせ 大分県竹田県税事務所

☎ 62-2178

森林環境税

大分県では、県民の理解と協力のもと、森林環境を保全し、すべての県民が森林を守り育てる意識を醸成するため、森林環境税を導入します。

森林環境税は、税収を「基金」として管理し、県民主導で個性豊かな取り組みを支援します。

納付方式 県民税均等割超過課税方式

納付者 県内に住所を有する個人（県民税均等割の納税対象者）、県内に事務所・事業所を持っている法人等

納付額 個人 年額500円

法人 均等割の5%
(年額40,000円まで)

実施時期

平成18年4月1日から5年間

●お問い合わせ

大分県農林水産部森との共生推進室

☎ 097-536-1111

(内線3871・3873)

竹田直入地方振興局林業課

☎ 63-1174

求人

◇土木技術者1名年齢不問20・8万◇

測量土木設計技術者1名30～50才25～40万◇ケアマネージャー1名年齢不問18万◇介護及び看護補助3名年齢不問13・2～13・728万◇看護師1名年齢不問18・2～26・75万◇保育士1名20～50才12・3万◇ホームヘルパー1名年齢不問12・6～13・6万◇事務1名年齢不問13・61万◇総務・経理1名25～30才18～23万◇営業1名20～40才15万◇販売外交員1名年齢不問12万◇レストランフロア係1名20～30才14～17・29万◇調理師見習1名18～30才12～15万◇給食調理員1名年齢不問12・5～13・5万◇バス運転手1名50才以下18～20万◇菓子製造1名25～30才18～23万◇土木作業員2名年齢不問12・5～16・25万◇瓦葺き工1名20～50才18・2～31・2万◇牧場作業員1名年齢不問15万

面接で事業所や会社等を訪問される方は、必ず相談室の窓口で紹介状をもらってから、面接に行ってください。

●お問い合わせ ハローワーク豊後大野 竹田市地域職業相談室

☎ 63-1101

訂正

広報たけた9月号14頁

「なんち読むん？ 竹田」

誤…（大津留下ふりがな）おおつるした

正…（大津留下ふりがな）おおつるしも

広報たけた10月号3頁

「台風14号被害の概要」

誤…本設工事50箇所、

架設配管210箇所

正…本設工事50箇所、

竹田市のこよみ 11月 2005年



1 (火)	・愛育祭 9:30～13:00 (直入保健センターグラウンド) ・文人書画展 9:00～16:30 (20日まで/歴史資料館) ・田能村竹田 171 年祭墓前祭 10:00～ (竹田墓地 (茶屋の辻)) ・遺墨展 9:00～16:00 (3日まで/旧竹田荘画聖堂) ・工藤敬一写真展 (30日まで/竹田観交情報センター) ・第 57 回画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭入賞作品展示 (4日まで/竹田市体育センター) ・第 57 回瀧廉太郎を偲ぶ音楽祭 (竹田市文化会館大ホール)
2 (水)	・竹田市中心学駅伝競走大会 8:30～12:30 ・田能村竹田 171 年祭茶会 9:00～15:00 (3日まで/旧竹田荘)
3 (木)	・文化の日 ・田能村竹田 171 年祭献茶式 9:00～ (旧竹田荘画聖堂) ・第 57 回画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭表彰式 (竹田市文化会館大ホール) ・第 18 回町と村を結ぶ奥豊後ふれあい祭 9:00～16:30 (竹田古町商店街通り) ・年金週間 (12日まで) ※可燃ごみ・不燃ごみ・廃プラごみ・資源ごみ収集日→11月2日(水)
4 (金)	
5 (土)	・久住地域駅伝競走大会 10:00～16:00 ・緩木森林公園まつり 10:00～15:30 ・神原穴森社三百年祭前夜祭 17:00～ (あ祖母学舎) ・竹田市福祉大会 10:00～14:40 (竹田市総合社会福祉センター) ・文人書画展ギャラリートーク 13:30～ (市民ギャラリー水琴館) ・全国一斉成年後見無料相談会 10:00～15:00 (司調会館 3 階 [大分市城崎町]) ・大分県水産業祭 (6日まで) (亀川漁協/別府市)
6 (日)	・第 26 回荻ふるさと祭り・防火パレード 9:00～16:00 (福祉健康エリア) ・きむれ城址公園祭り 10:00～14:30 (騎牟礼城址公園) ・神原穴森社三百年祭 9:00～ (健男霜凝日子神社、「緒環」周辺) ・直入地域市政懇談会 14:00～ (直入中央公民館) ・直入地域自治会長研修会 16:00～ (直入中央公民館)
7 (月)	・荻の里温泉・陽目の里名水茶屋休業日 ・国有財産の日
8 (火)	・長湯で楽しむ竹田版スローライフ 14:00～9日 12:00 (直入総合支所他) ・はなしかなし無料歯科健診
9 (水)	・平成 17 年度銃砲刀剣類登録審査会 10:30～16:00 (県総合庁舎 6 階 61 会議室 [大分市]) ・21 ふれあい健康づくりの集い～みんなで一緒に歩こうよ！申込メ切 (健康増進課) ・秋季全国火災予防運動 (15日まで) ・「119」番の日 ・岡本地区市政懇談会 19:00～21:00 (岡本分館) ・直入火災防備訓練 6:00～ ・おはなしルーム 13:30～ (竹田幼稚園)
10 (木)	・技能の日
11 (金)	・税を考える週間 (17日まで)
12 (土)	・21 ふれあい健康づくりの集い～みんなで一緒に歩こうよ！9:00～受付 (竹田市文化会館) ・女性に対する暴力をなくす運動 (25日まで) ・久住エコロジーキャンプ (13日まで/久住高原荘) ・温泉療法医研修会公開講座 16:00～ (直入中央公民館) ・青少年の健全育成にかかわるワークショップ (森林カウンセリング) 10:00～16:00 (あ祖母学舎)
13 (日)	・第 29 回直入地域ふるさと振興祭 9:00～ (直入総合支所イベント広場) ・芸術会館巡回展 (直入総合支所大会議室) ・竹田火災防備訓練 ・秋季芸能祭 (唄と踊りの祭典) 11:00～15:00 (竹田市文化会館大ホール)
14 (月)	・荻の里温泉・陽目の里名水茶屋休業日
15 (火)	・個人事業税第 2 期納期限 (大分県竹田県税事務所) ・「健全な家庭づくり」学習会 13:30～16:30 (竹田直入地方振興局会議室) ・第 57 回画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭特賞作品展示 (20日まで/市民ギャラリー水琴館)

※行政相談に関するお問い合わせは行政相談員まで (田仲静夫：☎ 63-2454、渡辺善照：☎ 77-2067、斉藤義昭：☎ 75-2692、太田正一：☎ 68-2480)

16(水)	・温泉療養文化館御前湯休館日 ・社会保険相談所（年金相談）10:00～15:00（竹田市総合社会福祉センター） ・人権を守る市民の集い13:30～（竹田市文化会館） ・行政相談10:00～12:00（久住総合支所）10:00～12:00（直入総合支所相談室）
17(木)	・行政相談9:00～12:00（竹田市総合社会福祉センター）10:00～12:00（荻総合支所1階厚生室）
18(金)	・青少年の日 ・第5回竹楽（20日まで） ・人権バンド「うた組 はぜの木」コンサート18:00～19:40（くじゅうサンホール） ・鈴木靖将「竹楽万葉展」（19日まで／ギャラリーしほや） ・里親制度説明会13:00～15:00（竹田市総合社会福祉センター）
19(土)	・第5回竹楽（20日まで） ・願成院本堂（愛染堂）秋の一般公開（曼荼羅）（20日まで／10:00～15:00） ・「くじゅう坊がツル・タデ原湿原」ラムサール条約登録記念式典10:00～12:00（九重町長者原ビジターセンター駐車場） ・平成17年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動九州地区大会13:30～16:00（ビーコンプラザ（別府市））
20(日)	・第5回竹楽 ・家庭の日 ・全国一斉「女性の人権ホットライン」電話相談日10:00～17:00（大分地方法務局 ☎097-532-0164） ・医療安全推進週間（26日まで）
21(月)	・南部小学校不用品公売9:30～（南部小学校屋内運動場玄関） ・祖峰中学校不用品公売13:30～（祖峰中学校） ・荻の里温泉・陽目の里名水茶屋休業日
22(火)	・おはなしタイム10:30～（荻みらい館）
23(水)	・勤労感謝の日 ・営生地区市政懇談会19:00～21:00（営生農村環境改善センター） ・岡田香真流大正琴九州講師会演奏会12:30開場／13:00～15:30（竹田市文化会館大ホール）
24(木)	
25(金)	・性の健康週間（12月1日まで）
26(土)	・第11回はづきチャリティーコンサート17:00開場18:00開演（くじゅうサンホール） ・お稲荷さんがまいこみます15:00～18:00（予定）（竹田商店街） ・コール竹田・メリーズ10周年記念コンサート18:30開場19:00開演（竹田市文化会館）
27(日)	・久住火災防備訓練 ・第59回竹田市駅伝競走大会10:00直入中央公民館スタート ・奏リコーダーアンサンブル第1回定期演奏会18:00開場／18:30開演（竹田商工会議所） ・杏里コンサート18:00開場18:30開演（エイトピアおおの（豊後大野市））
28(月)	・荻の里温泉・陽目の里名水茶屋休業日 ・税関記念日
29(火)	・第54回竹田市中学校日本語弁論大会9:00～12:30（くじゅうサンホール）
30(水)	・固定資産税4期、国民健康保険税5期、介護保険料5期納期限 ・入田地区市政懇談会19:00～21:00（祖峰小学校体育館）
特記事項 ・その他	・教育・文化週間（1～7日） ・文化財保護強調週間（1～7日） ・全国糖尿病週間（7～13日） ・医療安全推進週間（20～26日） ・性の健康週間（25日～12月1日） ・第1回歳末助け合いチャリティーショー（12月3日／竹田市文化会館） ・竹田市少年少女駅伝競走大会8:00～13:00（12月3日／竹田市総合運動公園） ・第8回深山流岩戸神楽交流大会9:00～16:00（12月4日／荻町福祉健康エリア） ・「TAO 体感コンサート」学校への芸術家派遣事業（12月6日14:00～／くじゅうサンホール） ・TAOふるさと凱旋公演2005ファイナル（12月27日／竹田市文化会館） ・特区、規制改革・民間解放集中受付月間（16日まで） ・麻薬・覚せい剤乱用防止運動 ・共同募金運動（12月31日まで） ・児童虐待防止推進月間

※可燃ごみ収集日→24日(木)

竹田市社会福祉協議会相談日

・一般相談（1・8・15・22・29日）9:00～12:00
・法律相談（11日）13:00～16:00 ※要予約

※健診等保健衛生に関する日程は、いきいきたけた情報カレンダーをご覧ください。※1：お問い合わせ 竹田市歩こう会（小林会長：☎62-3304） ※2：お問い合わせ 岡の里事業実行委員会（竹田創生館）☎62-4100